

佐倉市1歳6か月児及び3歳児健康診査の実施状況について

1. 集団健診及び医師診察受診状況

(1) 1歳6か月児健康診査

	集団健診			医師診察	
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
平成30年度	1,058	1,023	96.7	910	89.0
令和元年度	951	907	95.4	816	90.0
令和2年度	1,081	1,010	93.4	881	87.2
令和3年度	884	852	96.4	787	92.4
令和4年度	844	855	101.3	754	88.2

(2) 3歳児健康診査

年度	集団健診			医師診察	
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
平成30年度	1,283	1,182	92.1	1002	84.8
令和元年度	1,059	961	90.7	809	84.2
令和2年度	1,258	1,178	93.6	932	79.1
令和3年度	1,103	1,032	93.6	874	84.7
令和4年度	956	941	98.4	753	80.0

集団健診受診者全員に医療機関で医師診察を受けて頂くことができていない状況がある。

日頃からかかりつけ医院へ受診及び相談できていることや保護者の多忙が主な理由であるが、引き続き未受診勧奨を継続し、保護者の健診受診行動を促していく。

また、子どもの就園開始時期も早くなっていることから、市内教育・保育施設への健診受診勧奨ポスター掲示を依頼すると共に、教育・保育施設長会議において健診の意義について説明の上、健診受診勧奨を依頼している。

2. 医師診察受診結果及び精密健康診査受診結果

(1) 1歳6か月児健康診査

①医師診察結果

	集団健診 受診者数 (人)	医師診察 受診者数 (人)	医師診察 受診率 (%)	医師診察結果 (内訳人数)				
				異常なし	既医療	要経過 観察	要紹介 (要精密)	要紹介 (要治療)
令和2年度	1,010	881	87.2	827	4	36	13	1
令和3年度	852	787	92.4	723	10	41	11	2
令和4年度	855	754	88.2	685	4	49	7	9

②精密健康診査結果

	精密健康診 査受診票交 付数	受診者数 (人)	精密健康診査結果 (内訳人数)			
			異常なし	要経過 観察	要医療	要医療詳細
令和2年度	13	11	2	3	6	陰嚢水腫2名、臍ヘルニア3名、自閉スペクトラム症1名
令和3年度	10	10	3	7	0	
令和4年度	7	7	0	4	3	両側性移動精巣2名、先天性眼瞼下垂及び遠視性乱視1名

(2) 3歳児健康診査

①医師診察結果

	集団健診受診者数(人)	医師診察受診者数(人)	医師診察受診率(%)	医師診察結果(内訳人数)				
				異常なし	既医療	要経過観察	要紹介(要精密)	要紹介(要医療)
令和2年度	1,178	932	79.1	856	18	30	23	5
令和3年度	1,032	874	84.7	810	20	21	21	2
令和4年度	941	753	80.0	691	19	24	12	7

令和4年度要医療の内訳は、全て眼科である。

②精密健康診査結果

	精密健康診査交付数	受診者数(人)	精密健康診査結果(内訳人数)			
			異常なし	要経過観察	要医療	要医療の詳細
令和2年度	16	14	1	9	4	遠視性乱視2名、屈折異常弱視1名、自閉スペクトラム症1名
令和3年度	11	9	2	4	3	食物アレルギー1名、遠視性乱視1名、遠視性乱視及び弱視1名
令和4年度	20	19	4	9	6	真性包茎1名、遠視性乱視2名、乱視及び弱視1名、遠視及び屈折異常1名、自閉スペクトラム症1名

3. 3歳児健診尿検査結果

	一次検査				二次検査				精密健康診査					
	検査数(人)	検査実施率(人)	有所見数(人)	有所見率(%)	有所見結果(内訳延人数)				対象者数(人)	有所見者数(精密健康診査対象数)(人)	精密健康診査受診票発行数(人)	結果(内訳人数)		
					糖	蛋白	潜血	小計				異常なし	要経過観察	要経過観察の詳細
令和2年度	1,041	88.4	28	2.7	0	10	18	28	23	8	8	3	4	血尿群(暫定診断)1名、無症候性血尿2名、血尿1名
令和3年度	894	86.6	27	3.0	1	4	22	27	29	9	9	4	5	無症候性血尿3名、顕微鏡的血尿1名、家族性血尿1名
令和4年度	780	82.9	21	2.7	2	8	11	21	20	6	5	0	4	顕微鏡的血尿継続2名、蛋白尿継続2名

排泄の自立が遅くなっている傾向から、来所したものの尿検体を提出できない状況が散見されるため、オムツ内での採尿方法等や尿検査の必要性を明記したちらしを案内文に同封している。また、ちらしを用いて健診後の再提出日を案内し検査を勧奨している。

4. 保健師相談における判定状況

(1) 1歳6か月児健康診査 保健師相談判定

		受診者数 (人)	判定結果			要支援者の理由内訳 (上位5番目まで)		上段 要支援理由別人数(人)		
			支援なし (人)	他機関管 理(人)	支援あり (人)	ことば・ 社会性・ 行動面	保護者の 不安・負 担	保護者の 精神疾患 (疑い含)	下段 要支援理由別割合(%)	
									育児生活 態度	虐待ケース・ 虐待ハリスク
令和2年度	人数(人)	1,010	610	0	400	253	49	13	25	10
	割合(%)		60.4	0	39.6	25.0	4.9	1.3	2.5	1.0
令和3年度	人数(人)	852	486	0	366	272	22	21	23	4
	割合(%)		57.0	0	43.0	31.9	2.6	2.5	2.7	0.5
令和4年度	人数(人)	855	477	0	378	288	31	16	14	7
	割合(%)		55.8	0	44.2	33.7	3.6	1.9	1.6	0.8

(2) 3歳児健康診査 保健師相談判定

		受診者数 (人)	判定結果			要支援者の理由内訳 (上位5番目まで)		上段 要支援理由別人数(人)		
			支援なし (人)	他機関管 理(人)	支援あり (人)	ことば・ 社会性・ 行動面	保護者の 不安・負 担	保護者の 精神疾患 (疑い含)	下段 要支援理由別割合(%)	
									育児生活 態度	虐待ケース・ 虐待ハリスク
令和2年度	人数(人)	1,178	713	1	464	418	22	5	10	2
	割合(%)		60.5	0.1	39.4	35.5	1.9	0.4	0.8	0.2
令和3年度	人数(人)	1,032	622	2	408	382	10	6	3	3
	割合(%)		60.3	0.2	39.5	37.0	1.0	0.6	0.3	0.3
令和4年度	人数(人)	941	537	7	397	352	17	8	6	5
	割合(%)		57.1	0.7	42.2	37.4	1.8	0.9	0.6	0.5

保健師相談判定の結果、継続支援が必要な子どもの要支援の理由は、両健診共に、言葉や社会性、行動面での発達上の課題が最も多く、両健診共に微増傾向にある。

1歳6か月児健診では、子どもが発達上の課題を持ち、かつ、保護者が育児不安と育児負担から不適切な関わりに至っている場合には、親子教室を事後支援の場として設けている。親子教室では、公認心理師から母子双方の心理面や親子の関わりについて助言指導が得られる共に、保護者が保育士らの子どもへの関わり方について体験を通して学ぶことができる場となっている。

また、健診ではすべての保護者に対して、子育ての不安や負担感に寄り添うことを基本とし、子どもの成長発達の見通しを伝えながら、子どもへのかかわり方の助言を行っている。

5. 保護者の子育ての状況(健康さくら2 1に係る問診票設問)

(1) 子どもに対して育てにくさを感じる保護者の割合

① 1歳6か月児健診

設問1 お子さんに対して、育てにくさを感じますか				
回答	令和3年度		令和4年度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
いつも感じる	4	0.5	6	0.7
時々感じる	154	18.1	152	17.8
感じない	687	80.6	694	81.2
無回答	7	0.8	3	0.4

② 3歳児健診

設問1 お子さんに対して、育てにくさを感じますか				
回答	令和3年度		令和4年度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
いつも感じる	18	1.7	13	1.4
時々感じる	270	26.2	237	25.2
感じない	735	71.2	684	72.7
無回答	9	0.9	7	0.7

1歳6か月児健診時と比較して、3歳児健診では育てにくさを感じる保護者が増加する。両健診では、子どもの成長発達の見通しを伝えながら、育児について助言を行っている。

(2) 育てにくさを感じたときに何らかの解決する方法を知っている保護者の割合

① 1歳6か月児健診

設問2 (設問1で「いつも感じる」「時々感じる」と回答した方への再設問) 育てにくさを感じたときに相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。				
	令和3年度		令和4年度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
はい	110	69.6	129	81.6
いいえ	45	28.5	21	13.3
無回答	3	1.9	8	5.1

② 3歳児健診

設問2 (設問1で「いつも感じる」「時々感じる」と回答した方への再設問) 育てにくさを感じたときに相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。				
	令和3年度		令和4年度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
はい	227	78.8	197	78.8
いいえ	52	18.1	43	17.2
無回答	9	3.1	10	4

妊娠期の保護者との面接を初回に、新生児訪問等乳児期の母子事業全般をとおして、相談先として保健センターの存在を情報提供し、保護者の不安や負担に寄り添い支援を行っている。

6. 医療機関と母子事業の連携

医師診察後に医療機関からことばと発達の相談室へ紹介を頂いた子どもについては、ことばと発達の相談室での支援の経過を「支援・経過報告書」を用いて、医療機関へ返信させて頂いている。

ことばと発達の相談室から医療機関への報告数

	1歳6か月児健康診査	3歳児健康診査
令和3年度	16	8
令和4年度	12	6